

平成19年度

決 算 報 告 書

自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日

国立大学法人 名古屋工業大学

第4期事業年度

平成19年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,239	5,239	-	
施設整備費補助金	688	688	-	
補助金等収入	22	55	33	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	-	
自己収入	3,457	3,604	147	
授業料、入学料及び検定料収入	3,361	3,458	97	(注2)
雑収入	96	146	51	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,546	2,190	644	(注4)
引当金取崩	-	6	6	(注5)
目的積立金取崩	430	213	△217	(注6)
計	11,410	12,023	613	
支出				
業務費	7,750	6,541	△1,209	
教育研究経費	7,750	6,541	△1,209	(注7)
一般管理費	1,376	1,917	541	(注8)
施設整備費	716	716	-	
補助金等	22	55	33	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,546	1,868	322	(注10)
計	11,410	11,096	△313	
収入-支出	-	927	927	

○予算と決算の差異について

(注1) 補助金等収入については、予算作成段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。

(注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、未納退学者の減少及び平成19年度入学者数の増加等により予算額に比して決算額が97百万円多額となっています。

(注3) 雑収入については、主として本学独自の公開講座のプロジェクト(工場長養成塾)の開始・積極的資金運用による受取利息の増加・特許権収入の増加・企業研究セミナーの事業拡大・企業等からの広告掲載料の増加等により決算金額が51百万円多額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算作成段階では予定していなかった国(の各組織及び民間)からの受託・共同研究及び受託事業等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が424百万円、寄附金が220百万円多額となっています。  
産学連携等研究収入及び寄附金収入等は、前年度からの繰越額138百万円を含んでいます。

(注5) 引当金取崩については、予算作成段階では予定していなかった事例により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、計画の見直しによる事業の繰り延べに伴い、予算金額に比して決算金額217万円が少額となっています。

(注7) 教育研究経費については、人件費削減及び教育研究の効率化に伴う経費の削減等により、予算金額に比して決算金額が1,209百万円少額となっています。

(注8) 一般管理費については、退職手当の増加及び支払消費税の増加等により、予算金額に比して決算金額が541百万円多額となっています。

(注9) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっています。

(注10) (注4)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が322百万円多額となっています。